

# 稲門やま

|     |                          |
|-----|--------------------------|
| 発行所 | 早稲田大学大和稲門会               |
| 発行人 | 会長 宮崎 顕                  |
|     | 事務局長 小澤 重晴               |
|     | 〒242-0007 大和中央林間 2-16-35 |
|     | TEL・FAX 046-276-8841     |
| 編集人 | 瀧本幸男、児浦義文、小澤重晴           |

早稲田大学大和稲門会会報第42号

## 新会長挨拶

宮崎 顕 (S42. 法学部卒)

☆☆ 新体制スタート! ☆☆

— 「会員増強・会の活性化」への挑戦 —

— 「入会してよかった」と思える「大和稲門会」を目指して—



大和稲門会会員の皆様には当会の活動に対する日頃のご支援、ご協力に対して厚くお礼を申し上げます。昨年11月の総会において推挙され、大和稲門会4代目会長に就任いたしました宮崎 顕（みやざき あきら）です。

昨年度に当大和稲門会は創立25周年を迎えましたが、この記念の年に会長という重責を担うことになり、身の引き締まる思いであります。私は卒業後、いわゆるIT業界で定年まで勤めてまいりました。営業、システムエンジニアという技術畑、安全管理部門、管理部門と経験しました。また、当稲門会には、設立時より在籍し、幹事長、事務局長などの役職も経験させて頂きました。こうした経験を会の運営に生かしていければと思っています。

私が会長として手掛けたいことは次の三つの課題への取り組みです。

**第一の課題**は会員の増強です。

大和稲門会は、現在会員数80名程ですが、私は、もっと会員数を増やす余地は十分あると思っています。調査によれば、大和市内に在住の校友数は900名以上いることが分かっています。

先ず、こうした校友たち一人一人を訪問し、大和稲門会の紹介と加入推進を図る積りです。女性会員を増やすことにも努力していく所存です。会員数120名を目指していきます。目下、新役員と勧誘の準備を進めているところです。

**第二の課題**は稲門会活動の活性化です。

現状では、80名の会員の中で、日頃から会の行事や活動に参加している会員は、20名前後という状況です。当稲門会には、カラオケや詩吟、パソコン・ゼミなど各種の同好会がありますし、更に、年2回のハイキングやゴルフ大会、9月にはバーベキュー大会等の各種のイベントも行っています。

私は、会の行事や活動にもっと沢山の会員に参加していただきたいと思っています。そのためには、現在行っている行事や活動の内容を必要なら見直

し、①会員の趣味を生かす、②楽しむ、③達成感がある、④仲間を増やし親睦を高められる、この四つの観点で充実化を図っていく積りです。

**第三の課題**は「早稲田との絆」の強化です。

稲門会の魅力の一つは、行事や活動を通し、卒業後忘れていた早稲田愛や学生時代（＝青春時代）を思い起こせることにあります。野球やラグビーの早慶戦を応援したり、箱根駅伝を応援しながら、校歌や応援歌を歌う時、自然と昔を思い出し、時には胸に熱いものがこみあげてきます。そうした意味で、早稲田スポーツ観戦を同好会に組んだり、大学から発信される早稲田情報（例えば、稲門祭情報）を会員に伝え、早稲田との絆を強めて行きたいと思っています。

以上の三つの課題に取り組むことで、会員の皆様が「入会してよかった」と思える、そんな大和稲門会にしたいと考えています。会員の皆様には、ご協力ご支援の程よろしくお願い申し上げます。今は新型コロナウイルスの感染が世界的に拡大を見せており、どうか会員の皆さんにはご自愛下さいますようお願い申し上げます。

## 大和稲門会第26回総会開催

日時：令和元年11月9日（土） 17:00～21:00  
 会場：横浜うかい亭（大和市つきみ野）  
 参加者：来賓32名、会員24名（合計56名）

### 【第1部総会】（会員のみ出席）



石川議長

☆議事に先立ち、過日逝去された加藤英雄前会長に全員で黙とうを捧げる。

☆石川会長を議長に選出し議事開始。

1. 平成30年度事業報告案、30年度決算案および監査報告を承認。
2. 令和元年度事業計画案、予算案の承認。
3. 役員改選：石川会長、真鍋副会長、岩本副会長が退任し各々相談役に就任。新会長に宮崎氏、新副会長に瀧本氏、菟場氏、水野氏を選任し、幹事長に児浦氏、事務局長に小澤氏を選任した。
4. 会則の改訂：会員資格にファミリー会員、準会員、賛助会員を追加。



うかい亭の  
オルゴール

### 【第2部講演会】

講師：吉野稔威雄（いづお）氏（元平塚市長、現在平塚稲門会名誉会長）

演題：「中曽根康弘先生との20年」

『中曽根先生に仕えて20年』その間の興味深い政界の裏話を披露された。大平総理の死去に伴う後継総裁選で鈴木善幸氏が選出された時の経緯や、政界の裏話、キングメーカーといわれた田中角栄氏の動き、中曽根総理誕生と総理在任中の吉野氏自身の参謀としての働きぶりなどが語られた。（なお、中曽根元総理は総会後の11月29日101歳で死去されました。）



講演中の吉野氏

最後に政界のフィクサーと呼ばれた田中清玄氏について話が及ぶ。なんと現早稲田大学総長の田中愛治氏は清玄氏の次男に当たり、旧会津藩の家老の家柄であったとのこと。1時間余りの講演は参加者にとっては興味深く、皆さん満足の様子でした。

### 【第3部懇親会】

瀧本副会長の開会挨拶で、当稲門会が25周年を迎えたこと、また、それに伴い「25周年記念誌」を刊行した旨の紹介があった。続いて宮崎新会長が挨拶に立ち、会員増強、特に女性会員の増加、また同好会活動や各種のイベントの積極展開を図っていく等の方針が述べられた。

#### ◎来賓挨拶



早稲田大学尾内氏

大学を代表して尾内地域コーディネーターの祝辞があり、大学の現況が紹介された。県支部からは副事務局長の雨宮氏の祝辞、県支部大会を主管した厚木稲門会からは会長の吉成氏の参加御礼があった。

◎乾杯と開宴：川崎稲門会の越智会長の発声で懇親会が始まり、料理とワインで会場は華やいだ雰囲気になりました。

◎抽選会：稲門祭記念品グッズの抽選会が行われ、当選者は大喜びでグッズを受け取るなど、懇親会は大いに盛り上がりました。最後に、恒例の校歌斉唱、続いて関根副幹事長の力強いエールがあり、水野副会長の閉会の挨拶でお開きとなりました。



宮崎新会長挨拶



大和稲門会会員による写真撮影

## 令和元年 神奈川県支部大会開催

開催日時：令和元年年11月2日(土)  
 場 所：レンブラントホテル厚木  
 主 幹：厚木稲門会  
 参 加 者：320人(大和稲門会より石川会長以下10名参加)

### 第一部(県支部大会)

県支部大会は、大会旗、来賓、及び各稲門会会長の順で入場し、大会主管の厚木稲門会の吉成会長から歓迎の挨拶と神奈川県支部長(大会会長)鴻谷氏の挨拶があった。

次に田中愛治総長、小林校友会副事務局長、県下各稲門会の会長の紹介があった。



田中愛治総長

#### ●田中愛治総長の挨拶

総長からは「WASEDA ビジョン 150」の継承と具体的な取り組みが示され、強調されたのはハーバード大学等の一流大学にならば、早稲田も世界のトップクラスの大学を目指すという点である。それには教職員や学生一人一人が価値観を共有し、「やり遂げるという覚悟」を持つことである、と述べられた。

#### 【新しい早稲田のグランドデザインと三つの柱】

- ☆研究の早稲田＝早稲田で世界レベルの研究をする。
- ☆教育の早稲田＝世界で輝く早稲田マンを育てる。
- ☆貢献の早稲田＝社会に貢献する人材育成。

#### 【早稲田大学関係者(教職員、学生)に求める二つの資質】

- ☆「たくましい知性」＝答えのない問題に立ち向かう知性
- ☆「しなやかな感性」＝人類の多様化を認め受け入れる感性

続いて校友会の小林事務局長から挨拶があり、厚木稲門会会長から田中総長あてに寄付金の贈呈が行われた。

#### ●能楽観賞

##### 【観世流シテ方能楽師 清水寛二氏】

座間市在住。厚木稲門会会員。S51、教育学部卒。学生時代に能の指導を受け、卒業後に鏡仙会入門、古典曲の上演を続ける。また新作能にも取り組み、海外公演なども行っている。

##### 【「高砂」の観賞】

囃子方4名が舞台上がり、笛、小鼓、大鼓、太鼓の音の出し方等の説明があり、その後、清水氏が舞台上で高砂を演じた。多くの参加者は初めての経験で興味深く楽しく鑑賞させていただき「素晴らしい企画」だったと感じた。



清水寛二氏



### 第二部(懇親会)

懇親会は場所をホテル内の宴会場「暁紅の間」に移し行われた。厚木稲門会鈴木副会長の挨拶に続き大橋相談役の乾杯の音頭で開宴、美味しい料理をいただきながらの会話は弾みました。

また、厚木市で活躍のハーモニカ・アンサンブルの演奏を聞きながら各稲門会の皆さんとの交流も進みました。

厚木稲門会吉成会長から次期県支部大会開催主管の藤沢稲門会への大会旗の引継ぎがあり、続いて次期主管の内田会長より挨拶があった。

大会の最後は、校歌を一同で歌い二見副会長の閉会の言葉でお開きとなりました。



大和稲門会の参加者

## 大和稲門会新年会開催（令和2年1月）

日時：令和2年1月23日 18時～20時

会場：かごの屋（りんかんモール店）

参加者：15名

昨年11月の総会において宮崎新会長が選出され新執行部が活動を開始し、その最初のイベントとして新年会が開催されました。

総会以来初めての集まりということもあり、箱根駅伝のシード権獲得や、大学ラグビー選手権での優勝等の多くの話題で盛り上がりました。また各人毎に自己紹介と今年の抱負、稲門活動への要望等を話していただきました。なかには初めて聴く新鮮な話もありました。宮崎会長の話は郷里の会津に始まり、早稲田の田中総長も会津藩



笑顔で記念写真

の家老の出身で、会津には格別の愛着を持たれているという裏話が紹介された。石川相談役からは「今後の台湾と韓国の民主主義」勉強会開催の提案があり、多くの皆さんが賛同されました。

またS31年卒の小林会員からは、「大変楽しい会で、今後も参加したい」旨の嬉しい発言がありました。今後は、更に多くの参加者となることを期待します。なお出席者には村岡氏制作の令和元年11月の総会写真集（CD版）が配布された。

<参加者>

石川、岩本、小林(晃) 宮崎、遠藤、瀧本、菟場、水野、村岡、小澤、関根、渡辺、加藤(晴)、中西(剛)、児浦 (以上15名)

## 大和稲門会秋のハイキング報告（令和元年11月）

国立科学博物館自然教育園 & 都立庭園美術館



自然教育園入口での写真撮影

今年度の秋のハイキングは11月26日（火）、前日の好天とは一転し、朝から雨模様の寒い一日となりました。

中央林間駅に集合し、大井町線、目黒線と乗り継ぎ白金台駅で降り、徒歩7分で最初の訪問地である自然教育園に到着した。ほとんどの人は入口でピンクのリボンを付けてもらい無料入場（65歳以上）した。

ここは武蔵野植物園、水生植物園、路傍植物園の3つのエリアに分かれており、武蔵野を代表する四季折々の植物が生育されている。散策コースは、健脚コース（60分）とシニア向けコース（30分）があり、シニア向けコースを選んだ人が多いなか、石川、岩本両相談役はなんと健脚コースをひと回りされてこられたのには「さすが」という感じでした。

続いて隣接の東京都庭園美術館を訪問。ここは元皇族の朝香宮が住んでいた邸宅であり、戦後吉田首相の公邸として使われた。その後一時期迎賓館として使われ、1983年より東京都庭園美術館として一般公開されている。美術館の建物・内装はアールデコ様式で重要文化財に指定されている。

当日の展示会では「アジアのイメージ」と題して、日本美術を多様化させた東洋の古典美術（陶磁器類が中心）が展示されており、建物調度品との調和が素晴らしいと感じた。美術館を出て紅葉の始まった日本庭園を見学し、白金台駅前の食事処「ジョナサン」で会食。アルコールも入り話が弾み時間が経つのも忘れた一時でした。

（参加者）石川、岩本、遠藤、水野、宮崎夫妻、小澤、渡辺、加藤、児浦



美術館前で記念撮影

以上10名

## 箱根駅伝応援記(第96回箱根駅伝) 若い力でシード獲得(総合7位)

宮崎 顕(会長)  
来年こそ優勝を!

正月2日・3日に行われた箱根駅伝で母校の応援に行ってきました。

駅伝1日目の正月2日には、藤沢稲門会が例年準備する遊行寺の応援会場に向かった。会場では、「早稲田大学」「藤沢稲門会」等の幟旗を立てた応援場所が設営されており、笑顔で我々を迎えてくれました。

記帳をすませ、新年の挨拶を交わし、秋田稲門会の好意で用意された名物の「きりたんぼ鍋」をいただき、甘酒や日本酒で乾杯する。

レースは、1区では6位とまずまず、2区では2位と大健闘、そして我々の応援する3区では、井川君が2位を維持しながら通過、我々は精一杯応援した。選手が一通り通過し沿道の人々が帰り始めた頃、藤沢稲門会の応援会場が整理され、校友の藤沢市長のご挨拶、続いて応援に来た大和、相模原、鎌倉、逗葉の各稲門会が紹介され、みんなで校歌を歌い解

散となった。

帰路につくにつれて順位が気になったが、自宅で確認すると山登りの5区で順位を落とし、結局9位で往路はゴールした。

翌日の復路も沿道応援に行ってきました。復路の早稲田は、スタート6区で順位を3つ落とし12位となったものの、その後、7区、8区、9区で7位まで回復し10区に引き継ぐ展開となった。最終10区で宍倉君が早稲田の根性を見せ総合7位でゴールした。今年は1年生、2年生の若い選手の健闘で勝ち取ったシード権でした。

来年は、名門早稲田はシード権の獲得はもとより、青学の連覇を阻止し優勝しよう。

大和稲門会の皆さん、来年は会長の下一丸となって応援し、早稲田の勝利を勝ち取ろう。

## 「検証・俺たちの時代」研究会について 石川公弘(相談役 前会長) (S32, 商卒)

拝啓

会員の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。大和稲門会会長在任中は、長い年月にわたりまして一方ならぬご指導ご鞭撻を賜りました。ご厚情に厚く御礼申し上げます。

さて、私事にわたって恐縮ですが、私も間もなく86歳になり、心身ともに健康でいられるのはあと4年ぐらいだと思います。その間、お世話になった国家と地域社会に対して何か最後のご奉公が出来ないか、併せてそれが自分自身のボケ防止にならないか、考えてきました。(率直に言うと、この順序は逆かもしれませんが、お許してください。)

そこで、宮崎顕新会長の下での最初の大和稲門会役員会に、各種サークル活動の一環として、表題の研究会の設立とそれへの支援をお願いしましたところ、了承いただきました。当面のテーマは、「世

界一親日の台湾と反日の韓国、それを生んだ日本の近現代史」です。

方法としては、上のテーマに即した私の読書した内容や体験を、従来のように「台湾春秋」<http://kim123hiro.livedoor.blog/>に原則として毎日投稿し、それを3か月に1回まとめて研究会の日に報告、皆様から批判や提案を受けたいと考えています。

参加者は大和稲門会の会員に限定せず、広くこの問題に関心を持つ方、同憂の士を広く募りたい。場所は、おそらく大和駅から5分の大和市民ホール、シリウス辺りになるでしょう。第1回研究会はコロナの関係もありますが、5月中旬を考えています。

皆様の積極的なご参加を心からお願いし、ご挨拶といたします。

敬具

## 詩吟を始めませんか

菟場 直一 (S39 理工卒)

稲門やまと詩吟の会は2018年5月発足、6月より月1回例会を行い、3月で20回目の例会を迎えます。会長には私が就任し、世話人は児浦幹事長にお願いし、コンダクターと称する伴奏と指導を下條さん(岳精

会所属)にお願いしております。例会には稲門会員、劇団やまと塾のメンバー、岳精会からも常時3~4名の方に参加いただき一緒に練習しており、楽しい会になっております。

### 【詩吟とは?】

詩吟は吟詠とか朗吟といわれ、日本人の精神文化野高揚に不可欠な芸術文化の一つです。中国や日本の古今の漢詩・和歌・俳句・新体詩・現代詩などを吟じます。最近は歌謡吟詠といって歌謡曲の間に詩吟を挟んで歌って吟じて楽しもうという広がりも見られます。皆さんと詩吟を通じて「日本語の音と響きのすばらしさ」を感じ味わいたいと思います。



練習風景

### 【詩吟の効用】

詩吟に親しんで知る七つの楽しみ

- ① 心の不満が癒され生活に愉快さをもたらします。
- ② いつの間にか姿勢が良くなります。
- ③ 病気を予防し健康を約束します。
- ④ 心が鼓舞され積極性や意欲が生まれます。
- ⑤ 楽しんで味わえる心の栄養剤(サプリメント)です。
- ⑥ 先人の教訓や哀歎に触れ、人間再発見ができます。
- ⑦ 全国に広がる素晴らしい仲間との出会いがあります。



例会参加者

### 【詩吟の勧め】 先ず、始めましょう

○詩吟はだれでも吟じられます。自称音痴の人でも詩吟は詠えます。

○詩吟はのど自慢ではありません。決して大きい声を張り上げなくともよいし、自分声で、自分の声の高さで、しっかりお腹から発声します。

○時に幼年、青少年の人たちにも吟じてほしいと思います。

引込み思案を取り除き、積極的に意欲がわいてきます。

○高齢者にも新しい生きがいをもたらす、健康維持や痴呆予防にもなります。

○詩吟を始めるのに何もありません。そこに「詩」があればよいのです。

定例会 毎月第4水曜日

場 所 大和市生涯学習センター(シリウス)6階会議室



練習後の食事会

## 春のハイキングに参加しませんか

恒例の春のハイキングは町田薬師池公園色彩の杜を散策します。ここは町田市を代表する公園で「新東京百景」「東京都指定公園」に指定され、

四季折々の花や文化財が楽しめる公園です。特にこの時期、ぼたん園のボタン、シャクナゲは関東有数といわれています。

薬師池では、花菖蒲やハス田見頃は6、7月ですが、藤棚も見頃です。最後にこの公園全体が大規模整備を行っており、4/17 オープンの薬師池西園ウエルカムゲートのカフェ・レストランで食事を

したいと思います。また、時間があれば、見頃を迎える「えびね園」にも足を延ばしたいと思います。

皆さん是非ご参加下さい。

1. 開催日 5月12日(火)
  2. 集合場所・時間 小田急町田駅 北口改札 10時集合  
小田急町田駅北口21番乗り場からバス(本町田経由野津田車庫行、又は、鶴川行バスに乘車)野津田車庫 下車
  3. コース 町田駅=野津田車庫~ぼたん園~薬師池・蓮見橋~ふじ棚~古民家~薬師堂~西園ウエルカムゲート(食事)~えびね園=町田駅
  4. 参加希望者は事務局又は担当幹事まで  
事務局 小澤 重晴 TEL 090-3231-0767  
幹事 児浦 義文 TEL 090-9333-4479
- なお、正式案内は別途行う予定です。

## カラオケ同好会の開催場所が変わりました

カラオケ同好会は25年3月再発足して以来南林間のカラオケスナック「ウィズユウ」で毎月例会を行ってきましたが、店を開いてきたママが店を辞めることとなった為、本年1月が最後の例会となりました。7年間に大変お世話になりありがとうございます。

2月からは「ウィズ・ユー」のママに紹介いただいた「ペメル」という店で引続き例会を行っております。詳細は下記の通りですが、サラリーマンをリタイアされた夫婦で運営されています。料理上手の奥さんの手作りのつまみと飲み放題の良心的なお店で、楽しく寛げる店です。

店名 **ダイニング カフェ&バー “ペメル”**  
昼間はランチ(火~金) 夜は食事&お酒の店  
開催日時 毎月第3水曜日 14:30~17:30  
(この時間帯は貸し切りです)  
場所 大和市南林間1-7-11 046-259-7760  
南林間駅 西口 ファミリーマートの裏手のマツキヨ筋の並びです。わからない時は、南林間駅で幹事宛連絡ください。  
幹事 児浦 090-9333-4479  
関根 090-8494-9598



参加者一同(令和2年2月例会)

## 事務局便り

事務局長 小澤 重晴

1. 会員数 80名
2. 活動報告 (令和元年10/1~令和2年3/31)

### (1) 行事内容

- R1. 10. 20 「稲門祭」参加
- R1. 10. 26 秋のゴルフ大会
- R1. 11. 1 「25周年記念誌」発行
- R1. 11. 1 「稲門やまと41号」発行
- R1. 11. 9 大和稲門会総会
- R1. 11. 26 ハイキング(自然教育園)

### (2) 県下稲門会総会、県支部大会等

- R1. 10. 5 鎌倉稲門会総会出席
- R1. 10. 5 横須賀三浦稲門会総会出席
- R1. 10. 26 川崎稲門会総会出席
- R1. 11. 2 神奈川県支部大会出席  
(厚木稲門会主管)
- R1. 11. 10 茅ヶ崎稲門会総会出席

R2.1.2~3 箱根駅伝応援(総合7位)  
R2.1.23 大和稲門会新年会  
R2.4.1 「稲門やまと42号」発行

R1.1.2~3 平塚稲門会総会出席  
R2.2.8 藤沢稲門会総会出席  
R2.2.22 大和桜門会総会出席

### (3) 会幹事会

R1.10.17 幹事会開催  
R1.10.30 幹事会開催  
R2.2.27 幹事会開催

### 3. 今後の行事予定

R2.5.12 春のハイキング(町田市薬師池公園)  
R2.5.26 早慶ゴルフ大会(東名厚木CC)  
R2.9.20 バーベキュー大会  
R2.10.18 稲門祭  
R2.11.7 県支部大会(藤沢稲門会主管)  
R2.11.15 大和稲門会総会

### 4. 会費納入のお願い

令和2年3月20日現在の年会費納入状況は下記の通りです。未納の方は同封の振込票にて納入をお願い致します。

年会費は現在3千円ですが、総会決議により令和2年度(本年10月)以降は5千円となります。会費納入に関してお問い合わせ等ありましたら会計担当の児浦までご連絡ください。

会計担当 児浦義文 自宅電話 046-274-0628 携帯 090-9333-4479  
Eメール koura0114@jcom.home.ne.jp

#### (1) 令和2年度分まで納入戴いている会員

遠藤三紀夫 大澤 善勝 國方 隆 小坂 悟 小島 達之  
菅谷正一郎 鈴木 信義 瀧本 幸男 橘川 泰一 藤川千鶴 (小計10名)

#### (2) 令和元年度分(今年度)まで納入戴いている会員

中 晃 石川 公弘 岩本 武夫 遠藤 廣 大澤 孝征 太田 勝人 加藤 敬一  
加藤 裕之 児浦 義文 小林美佐子 佐藤 逸郎 佐藤 洋子 柴田 哲也 清水美加子  
関根 実 高田 博 土橋 仁志 菟場 直一 古木 利幸 保坂 保 町田 浩文  
眞鍋 藤正 水野 昂子 宮崎 顕 村岡 猛 遊佐 喜弘 横沢 和信 渡辺 伸明  
池田健三郎 小林 晃 中西 剛 小澤 重晴 加藤 晴夫 田中 政弘 杉山 充  
杉山 光司 佐竹 育子 稲葉 紘 他1名 (小計39名) (合計49名)

#### \*\*\*\*\*「編集後記」\*\*\*\*\*

昨年末までは2020東京オリンピックに向けて準備が進むのを楽しんでいた。ところが2019年末に小さく報道された中国武漢市を発生源とする新型コロナウイルスが、今年になり猛威を振るいはじめ、イタリア、スペインに飛び火し国際的に爆発的な感染者が増えたかと思うと、アメリカではそれ以上の速さで流行しており、今後はさらにアフリカ、南米への広がりが心配されるという。

日本の感染者の増加率は現在それほどでないようだが、毎年のように襲ってくる台風が猛威を振るい、さらにまた富士山の大噴火も心配されるとの新聞報道がある。人類が社会的な機能国家を形成し発展しても、数次にわたる世界規模の戦争が社会を破壊しており、さらに天災や疫病の心配をしなければならなくなったのが現代社会である。そこに生活する我々は何をしなければならぬか、答えがあるのだろうか。(瀧本)